



第40回(2025)

京都賞記念講演会

2025年11月11日(火)13時～ 国立京都国際会館

入場無料

同時通訳

定員 1,500名(先着順)

先端技術部門

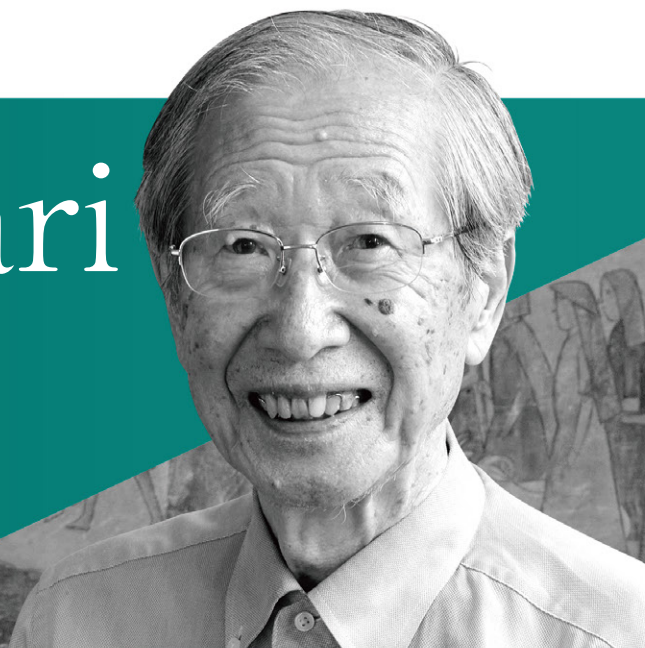
Shun-ichi Amari

甘利 俊一

数理工学者

帝京大学 特任教授／理化学研究所 荣誉研究員

「幸運なるわが人生」



基礎科学部門

Azim Surani

アジム・スラーニ

発生生物学者

ケンブリッジ大学 ガードン研究所 研究ディレクター

「アフリカで生まれ、生命科学の道へ」



思想・芸術部門

Carol Gilligan

キャロル・ギリガン

心理学者

ニューヨーク大学 ユニバーシティ・プロフェッサー

「飛び込んで聴く」



科学や技術、思想・芸術の分野に大きく貢献した方々に贈られる「京都賞」。
本講演では、京都賞受賞者に業績や研究内容などをエピソードも交えながら語っていただきます。
受賞者の人生観や人柄にも触れられる貴重な機会です。ぜひ、ご参加ください。

先端技術部門 情報科学

甘利 俊一
数理工学者
帝京大学 特任教授／理化学研究所 名誉研究員

幸運なるわが人生



東京大学に入学し、定員数わずか5名の新設の工学部にある数理工学コースに進学しました。これが幸運の始まりです。ここは新しい学問を求めて、自分の数理工学を築こうと教授たちも苦闘するコースでしたから、その有り様を見ながら自由に研究する術を学びました。九州大学に奉職し、脳の仕組みと情報とを考え始めました。ここで始めた機械学習の研究が、後にノーベル物理学賞とも結び付き、大きな流れとなるとは思ってもみませんでした。私の研究の中核をなすものは人工知能、数理脳科学、情報幾何学ですが、これらはみな研究を開始して10年、20年経ってようやく世に認められたものです。こうした好き勝手の研究を満喫できる環境に身を置けたことが、私の人生の最大の幸運であったといってよいでしょう。

基礎科学部門

生命科学及び医学
(分子生物学・細胞生物学・システム生物学等)

アジム・スラーニ
発生生物学者
ケンブリッジ大学 ガードン研究所 研究ディレクター

アフリカで生まれ、生命科学の道へ



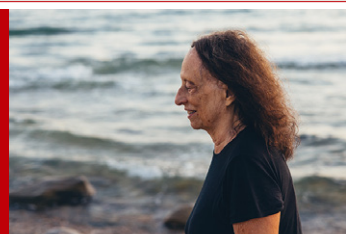
私はケニアのキスムで生まれました。ビクトリア湖に面した、美しい夕日とカバや鮮やかな魚のシクリッドで知られる小さな町です。教師の影響でマラリアを媒介する蚊などの生物に夢中になりましたが、ロールモデルや明確な計画はなく英国に渡りました。二つの大学とパリ滞在を経て、ケンブリッジ大学の体外受精の先駆者ロバート・エドワーズ教授のもとで博士課程に進みました。哺乳類の発生過程に魅せられ、「父親ゲノムなしで発生は可能か」と疑問を持ちました。そして父親ゲノムは胎盤の、母親ゲノムは胎児の発育により大きく影響し、正常な発生には両方が不可欠であることを偶然発見しました。この機能差はメンデル遺伝によるものではなく、遺伝子コードを変えずに親の生殖細胞系列から受け継がれる可逆的でエピジェネティックなインプリントによるものでした。これは哺乳類の発生、進化、ヒトの疾病に関するエピジェネティクス研究の夜明けとなる発見でした。

思想・芸術部門

思想・倫理

キャロル・ギリガン
心理学者
ニューヨーク大学 ユニバーシティ・プロフェッサー

飛び込んで聴く



私は聴くことを通じて、世界において隠されていた側面に気づき、私がケアの倫理と名付けたあの「もうひとつの声」を書き留めるに至ったのですが、その歩みを振り返るならば、それは「飛び込んで聴くこと」でした。私は、女たちによる道德を巡る会話を聞き取り、彼女たちが沈黙を破ったその様について話します。聴くとは、あえて飛び込む営みになるのだと悟ったあの瞬間を呼び戻します。その瞬間、何を学び知るかわからぬまま、人々が考えていることのみならず、本当に考えていることを聴き、他者から感じ、考え、知ってほしいと望まれていると思わしていることではなく、その人が実際に感じ、知っていることを語りだします。このことを初めて実感したのは、女や少女たちに耳を傾けたときです。今、私は片足を芸術に、もう片足を哲学に置きながら、小説「ソルスティス」を書き上げました。この小説では、三世代にわたり、大陸を越えて紡がれる物語のなかで、何が真実であり、何を信じられるのかを知るためにどうすればよいのかという問いについて探求しています。（訳：小西 真理子）

*講演タイトルは変更になる場合がございます。

各講演後には、インタビュアーの石井氏が

私たちの目線に立って、講演内容や

人生観などについて受賞者に問いかけます。



インタビュアー
石井 麻由子
(元NHKアナウンサー／フリー)

第40回(2025)京都賞記念講演会

2025年11月11日(火)13時～ 国立京都国際会館 京都市左京区室ヶ池
地下鉄烏丸線「国際会館駅」から徒歩5分

入場無料

同時通訳

定員 1,500名(先着順)

参加申し込みの方法および詳細は二次元コード／URLよりお願いします。
<https://www.kyotoprize.org/>



お問い合わせ

株式会社コングレ内 京都賞運営事務局
Tel 050-1736-6280 (受付時間 平日 10:00～17:00) E-mail kyoto-prize-lecture@congre.co.jp

主催

公益財団法人 稲盛財団

後援

京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、大学コンソーシアム京都、京都商工会議所、京都新聞、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社、産経新聞社、共同通信社、時事通信社、NHK、KBS京都、エフエム京都